

“InBodyS10[®]を用いた消化器腫瘍患者のサルコペニア評価と術後合併症予測の検討 “に関する研究

1. 研究の対象

2017年5月～2020年3月に当院で胃がん、食道がん、大腸がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年、消化器がん患者の術前の栄養状態が術後合併症だけでなく長期的な予後にも影響を及ぼすことが報告されている。最近、体に低周波の電流を流して、抵抗値を測定し、体脂肪量や筋肉量を測定するバイオインピーダンス法(BIA)が栄養評価の一つの手段として普及しつつあり、筋肉量を指標とした栄養評価が様々な疾患の治療成績と関連することが報告されている。

加齢や疾患によって筋肉量が減少した状態をサルコペニアと呼ぶが、サルコペニアのある患者は術後合併症の頻度が高いという報告や長期予後が不良であるといった報告があり、術前筋肉量が治療成績に影響を及ぼすことが報告されている。

今回の研究は、2017年5月～2020年3月に当院で手術を予定している食道がん、胃がん、大腸がん患者を対象に、術前のサルコペニアを評価し、治療成績にどのような影響を及ぼすかを観察研究することである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病名、年齢、性別、体重、身長、筋肉量、体脂肪量、合併症の有無、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221(代表)

研究責任者：大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター消化器外科 櫻井克宣

-----以上